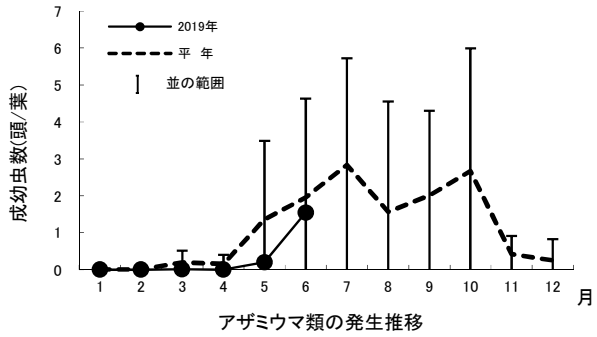
平成　31 年度　　7 月予報

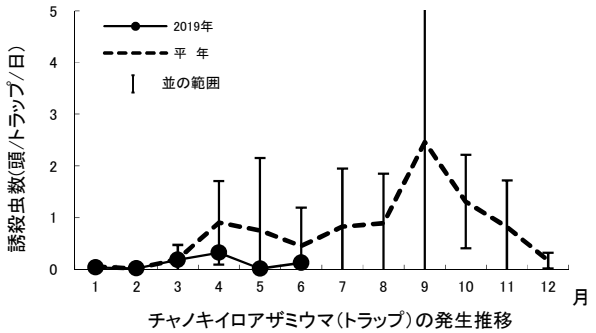
作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	7 月の発生量（平年比）	並	
	6 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	6 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

今期と平年の推移

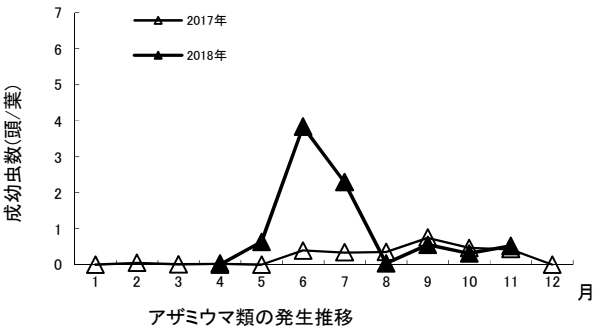


アザミウマ類の発生推移

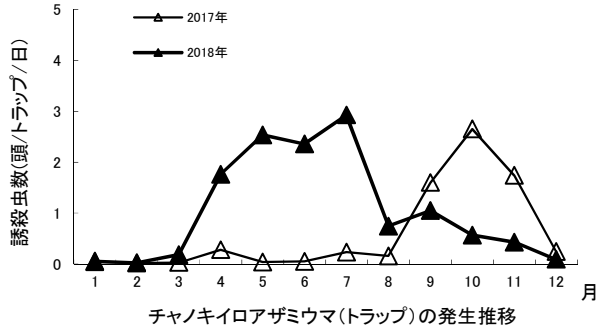


チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

過去2年間の推移



アザミウマ類の発生推移



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・収穫期に発生の多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

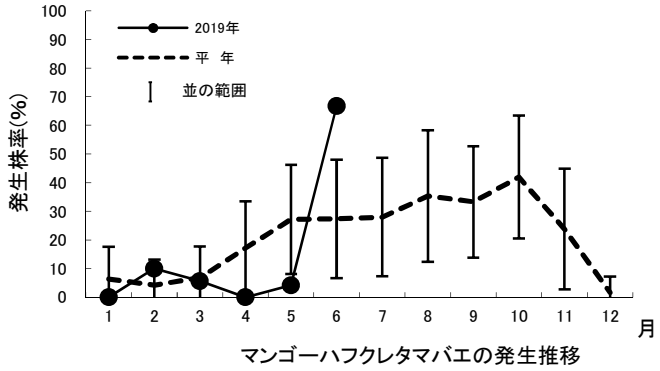
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　7 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
予報	7 月の発生量（平年比）	やや多		
	6 月からの増減傾向	→		
予報の根拠	6 月の発生量（平年比）	やや多		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（→）		

調査結果

今期と平年の推移

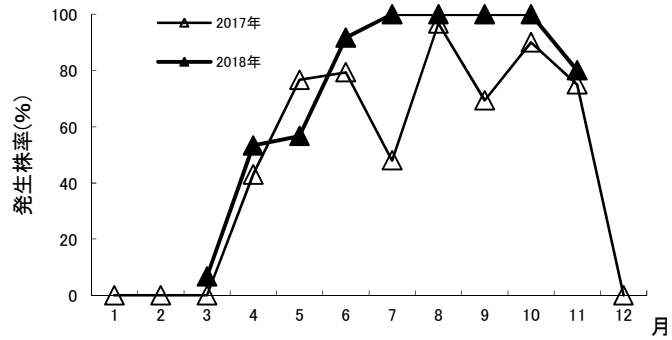


マンゴーハフクレタマバエの発生推移

・発生株率（%）：66.67（前年91.67　平年27.32）

・被害新梢率（%）：33.06

過去2年間の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

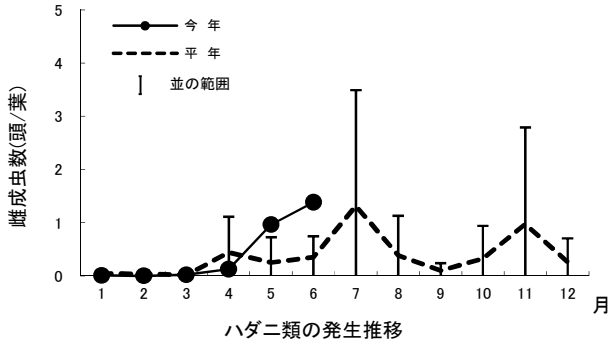
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

平成　31 年度　　7 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	③ ハダニ類		シュレイツメハダニ	
予報	7 月の発生量（平年比）	並		
	6 月からの増減傾向	↗		
予報の根拠	6 月の発生量（平年比）	並		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）		

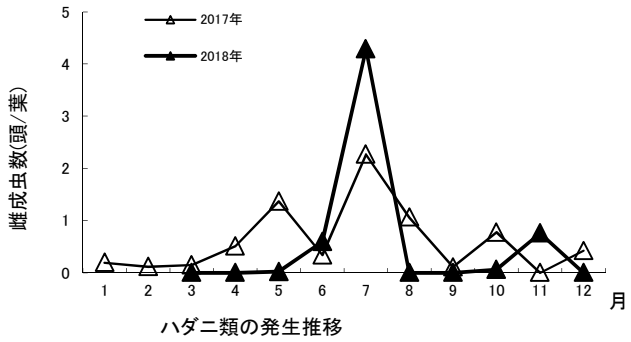
調査結果

今期と平年の推移



・雌成虫数(頭/葉)：1.38（前年0.59　平年0.35）

過去2年間の推移



・一部の調査ほ場で多発生していた。

・発生種：シュレイツメハダニ

防除のポイント

・収穫終了後の防除を徹底する。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症